

## 平成 27 年度 事業報告書

- 1 理事会の開催 年 2 回（5 月，3 月）
  - ・第 1 回 5 月 25 日，第 5 回 3 月 7 日
  - ・第 2 回，3 回，4 回は決議の省略の方法で実施（9 月 30 日，12 月 15 日 1 月 28 日）
- 2 評議員会の開催 年 1 回（5 月の理事会後 2 週間以上経過後開催）
  - ・定時評議員会 6 月 15 日
  - ・臨時評議員会 2 回実施（決議の省略の方法で実施）（10 月 14 日，1 月 14 日）
- 3 公益事業
  - (1) 腎不全及び腎移植に関する知識の普及及び啓発事業
    - 1) ・協会会報の発行：第 26 号会報 7 月 31 日 1,800 部発行
      - ・ホームページやラジオ番組提供による腎臓病，腎不全及び臓器移植の普及啓発：
        - ホームページのリニューアル，スマートフォン用ホームページの開設
        - ラジオ番組： 1.エフエム仙台：毎週土曜日 11：00 から 25 分提供番組
        - 2.TBC ラジオ：毎週日曜日 7：30 から 30 分提供番組
    - 2) 透析患者の実態調査  
平成 27 年 12 月末現在の宮城県透析施設 60 施設患者対象で実施。
      - ・ 2 月 28 日提出締切 現在集計中、7/末発行予定の会報第 27 号に掲載予定
    - 3) 臓器移植院内コーディネーター研修会の開催（主催）年 2 回開催
      - 第 1 回：7 月 1 日 26 名参加 ■第 2 回：12 月 15 日 16 名参加
    - 4) 宮城県臓器移植コーディネーターによる臓器移植の普及推進活動（県委託事業）
      - ①県内主要病院（27 施設）を訪問し，臓器移植についての理解と協力を求める。
        - のべ 196 施設，透析施設延べ 141 施設（3 月末日現在）
      - ②日本臓器移植ネットワークと連携し，院内コーディネーターを設置・要請し，移植医療の支援体制を図る。
        - 日本臓器移植ネットワークが行う研修会，ドナー家族の集い等に積極的に参加
        - 日本臓器移植ネットワークとの連携に関連し，その指示のもとに心停止下臓器を搬送（2/11）日本海総合病院（酒田市）→JCHO 仙台病院
        - ・ 3/9 気仙沼市立病院→JCHO 仙台病院、東北大学病院
    - 5) 臓器移植フォーラムの開催（県と共催）年 1 回開催
      - 11 月 15 日 アエル 30 階 約 120 名参加
    - 6) 腎臓病講演会の開催（主催又は他団体と共催）年 1 回開催
      - 9 月 27 日仙台市若林文化センターホールで腎臓病フォーラム開催（県腎協，M-CKDI，その他と共催）約 600 名参加

7) 他団体との協力等

患者団体の福祉事業に対する援助（腎臓病フォーラムの共催）や他団体が行う事業で後援依頼があり、定款の事業目的に合致すれば、その事業を後援した。

■ 県腎協総会出席（6 / 7）

■ 名義後援：宮城臨床栄養研究会（10 / 17, 18）、宮城 CKD 臨床栄養研究会（8 / 1）、社会福祉事業チャリティ第21回全東北空手道選手権（11 / 22）

8) 世界腎臓デー企画「キトネットワーク・健康フォーラム 2016 in Sendai」の実施（共催）

・ 3月27日ハーネル仙台にて実施。参加者：450名

(2) 腎バンク登録等による腎移植の推進及び啓発事業

1) 腎バンク登録業務（随時）

・ 27年度登録0件 運転免許証及び保険証裏面の意思表示欄に記入を促進した。

2) 臓器移植推進啓発普及事業

・ 陸上自衛隊東北方面隊記念事業において、臓器提供意思表示の普及啓発を実施。

・ 各種広告媒体等を利用しての臓器提供意思表示の普及啓発を実施。

・ 9月27日 資材研、東北文化学園専門学校等多くのボランティアに参加いただき資料4,000部配布

・ 臓器提供意思表示啓発用のクリアファイル作成、随時配布（4,000部）

・ 臓器提供意思表示出前講座：宮城野高校（12 / 5）

・ 仙台駅発車時刻表（無料配布用、鉄道共済会発行）に臓器提供意思表示の普及啓発の広告を掲載。（5月、8月、12月、20,000部）

・ 県内全域を運行する宮城交通のバスに臓器移植啓発用ポスターを掲示。（50台、10/1から10/31）

3) 全国腎バンク連絡協議会への参加（年1回）・ 9月12日県コーディネーター代理出席

4) イオン黄色いレシートキャンペーンに参加して、臓器提供意思表示の普及啓発を実施。（年2～3回）3箇所 延べ6回

5) 臓器移植シミュレーションへの参加（年2～4回）

・ 3月2日仙台市立病院（院内勉強会）

6) 各地域のイベント等に参加しての臓器提供意思表示の普及啓発を実施。

仙台市が行う「市民医学講座」等

・ 市民医学講座 8回、運転免許センターでのチラシ配布8回

・ 骨髄バンクパレードに参加（10 / 24）・ まつしま産業まつりでチラシ配布（11 / 1）

7) 腎臓及び臓器提供家族への弔意及び移植者の経過報告の実施 → 今年度実施無し。

8) 宮城県移植医療推進会議の2回開催：第1回：8月28日、第2回：2月3日

県内の移植医療関係者（臓器提供施設、臓器移植施設、行政、協会、患者団体等）が、移植医療に関する諸問題について協議した。

■ 1月22日に臓器提供施設研修会実施

(3) 腎疾患に関する調査研究及び予防対策の研究助成及び支援事業

1) 腎疾患研究助成事業

■①②とも審査委員5名（1名は外部委員）による審査後，助成金交付。

①腎疾患研究の公募（1件50万円以内総額200万円以内）

■3件150万円助成 11/9 振込

②腎疾患の研究助成の申請に対する助成（随時）

・合計 12件 振込 7,650,000円（手数料含む）

2) 腎疾患研究会・研修会等の開催

①腎不全研究会（主催）27年12月6日 仙台市内

■一般演題37，指定演題2，特別講演，ラウンドテーブル，542名参加

②血液浄化法従事者研修会（主催）28年2月2日間 仙台市内

■2月18日～19日実施済 講師15名 SMBC日興証券会議室で，73名参加

③東北アフェレシス研究会（共催）28年3月 仙台市内 3月5日開催

④腎疾患の研究に関する学会，研究会の開催に対する共催・後援

1. 第42回日本神経内分泌学会・第23回日本行動神経内分泌研究会合同学術集会共催（9月18，19日：仙台市戦災復興記念館）

2. 第21回日本腹膜透析医学会・学術集会総会共催（11月29日：仙台国際センター）

4 その他

(1) 賛助会員の募集

個人9件（10口）法人45件（46口）計54件（昨年度45件）

(2) 運用寄付金，研究助成寄付金等の募集 運用寄付金増加，研究助成寄付金の受付

(3) 透析施設災害対策連絡協議会（仮称）の運営

上記組織は廃案とし、透析施設間災害対策ワーキンググループを協会傘下とした。

(4) その他